

# 礼拝プログラム

2017年6月18日

司会: 西井兄 奏楽: ボウト姉 通訳: 大倉師

前奏: Prelude

賛美: Hymn

使徒信条: \* Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈禱: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

『見えるところによらず、信仰によって歩む』

“For we walk not by sight, but by faith”

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝禱: \* Benediction

\* 印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されます。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: ホッグ姉、イノサント姉

グリーター: 本多姉、コート姉

ナーサリー: ストーン姉、シラ姉

チルドレンチャーチ: 町田兄、仰兄

セキュリティ: ウォーカー兄

## 来週、25日の礼拝

司会: 本多兄 奏楽: 大倉姉 通訳: 町田姉

メッセージ: 「驚くべき人の回心」

賛美: LP190、新聖歌358

アッシャー: ホッグ姉、イノサント姉

グリーター: 本多姉、コート姉

ナーサリー: 川久姉、石井姉

チルドレンチャーチ: 大倉姉、奏姉

セキュリティ: モンドラゴン姉

## お知らせ

本日の礼拝後の予定  
コーヒーアワー、教会総会

■ Happy Father's Day! 皆さんのお父様の上に、また現役の父である方々、教会の父親のような存在の方々、お一人お一人の上に天来の祝福が豊かにありますように！

■ 今日の礼拝によろこそいらっしやいました。心より歓迎します。また続けてお越してください。

■ 今日は礼拝後に教会総会がもたれます。メンバーの方はお残りください。またメンバーでないかたもオブザーバーとして歓迎いたします。

■ 7月2日(日)の礼拝にはケンタッキー州、ルイビルで伝道牧会をしている佐藤岩雄牧師がメッセージを取り次いでくださいます。

■ 6月6日にダン倫子姉のご主人、ケネスさんが天に召されました。このために今週、6月23日(金)、午前11時より教会にてメモリアルサービスがもたれます。ダン姉、娘のユリカ姉、ご家族の上に天来のお慰めと平安をお祈りください。

## 今週の予定

21日(水)	水曜集会	7:30pm-
22日(木)	木曜集会	10:30am-
23日(金)	メモリアルサービス	11:00am-
24日(土)	母子の会	10:00am-
25日(日)	日語執事会 理事会	

## 落客利恵

「わが子よ、あなたは父の教訓を聞き、母の教えを捨ててはならない」 箴言1章8-9節

今日、現代の家庭には父親が不在だということをよく聞きます。仕事の忙しさや夫婦のかたちの変化にともない、あるデータによると日本では父と子の会話は一日に7分しかないという報告もあります。今ほど父親がもっと家庭に関わるようにと叫ばれている時代はありません。

ご存知の方もいると思いますが、ハリウッドの七大映画会社のうちユナイテッド・アーティストを除く六社、コロムビア、ユニヴァーサル、MGM、20世紀フォックス、ワーナー、パラマウントはユダヤ人によって創設されました。ということはハリウッドで作られる映画のストーリーにはユダヤ的なものが反映されることが多分に考えられます。

「ユダヤ的」とは何でしょうか。そこには色々な様相があるでしょうが、その中の一つに、ハリウッド映画では父と子の関係を取りあつたものがとても多いということです。思い出されるだけでも「ルーキー」「ジョン Q」「ザ・デイ・アフタートゥモロー」「キッズ」というような映画があります(日本映画の中に父子の関係がテーマの映画はあまり多くないのではないのでしょうか)。

聖書には族長と呼ばれる父親を中心とした家族が形成され、諸々の王と息子達との関係が数多く記されていますし、何よりも聖書のメッセージは父なる神と我々人間の物語なのです。このような聖書の世界に生きているユダヤ人にとりまして、父親が家庭に占める役割は大きく、それをとても大切なこととしているのも当たり前といえば当たり前のことなのです。一年に一度しかない父の日ですが、私たちはもう一度、家庭における父親の存在というものを確認しましょう。お父さん方、父としての最善のガイドブックは聖書の中に余すところなく書かれていますよ！